

## 基礎領域研究

雑誌名	日文研
巻	58
ページ	70-71
発行年	2017-03-31
URL	<a href="http://doi.org/10.15055/00006516">http://doi.org/10.15055/00006516</a>

二〇一六年七月二三日

ゴウランガ・チャラン・ブラダン「外国における『方丈

記』の受容——夏目漱石の『英訳方丈記』をめぐる

——」

マラル・アンダソヴァ「カザフスタンにおける日本神話の

受容——現状と課題」

今後の予定 大衆文化キックオフシンポなど

山藤夏郎「〈古典性〉再考——台湾の『國文』教育を参照

事例として——」

二〇一六年七月二四日

伊藤慎吾「ライトノベルと怪談資料」

(文責：研究協力課)

### 基礎領域研究

韓国語運用の応用 (継続)

代表者 松田利彦

概要 研究その他の業務で韓国語を必要とするものに対し、会話、読解、聴解の習得を目指した授業を行う。

古記録学基礎研究 (継続)

代表者 倉本一宏

概要 日本前近代の根幹的史料である古記録の解説を、原本や写本の見方・扱い方も含めて考えていく。大学院生・教職員・他大学の院生・研究者の参加も歓迎する。

フランス語基礎運用 (初級) (継続)

代表者 稲賀繁美

概要 初心者を対象として、初歩の運用能力を実践的に身に付ける。教科書としては当該年度のNHKラジオ講座教材の準備を参加者各自に願う。他の教材は現場で提供する。

フランス語読解補助・論文作成指南 (中級) (継続)

代表者 稲賀繁美

概要 中級以上の実務能力開発、論文作製の手ほどきをする。教材については、受講生との相談のうえで決定する。

中世文学講読 (継続)

代表者 荒木 浩

概要 中世文学の影印本の読解を軸に、古典テキストの研究方法を考察する。

文学・文化史理論入門（継続）

代表者 坪井秀人

概要 文学および文化史に関する基礎的な理論を学びながらテキストの読解・分析の実践的方法を修得する。

近現代史史料文献研究（新規）

代表者 瀧井一博

概要 日本近現代史の基礎史料と古典的および先端的な文献を講読し、社会科学的な歴史研究の方法と実践を討究する。